

# 絵本 ~心のキャッチボール~



the 0123

アートチャイルドケア

絵本~心のキャッチボール~ 2012年5月

- ◎愛 情：読み手と絆を深める
- ◎情 操：絵本が好きになり、豊かな人間性を育む
- ◎知 育：「想像力」「集中力」が育ち、読み書きへの関心が高まる



大好きな人のところに絵本を持ってきて「読んで」とリクエストするお子様たち。絵本が大好きで楽しんでいることはもちろんですが、大好きな人のぬくもりを感じながら、その時間を一緒に過ごすことも、お子様の喜びになります。絵本を読むことで、何かを感じとり、大人もお子様も絵本を通しての思い・感動などを共有できることがTVやDVDにはない絵本ならではの素晴らしさではないでしょうか。



## 年齢別の目標

### 乳児(0~2歳)

- 1期：絵と読み手の語り掛けに興味を覚え、絵本に関心を持ちます。
- 2期：絵本を楽しむ好奇心が芽生えます。
- 3期：絵と現実が体験を通して、少しずつ一致する。
- 4期：イメージが膨らみ、次のページに現れることを期待して見るようになる。

### 幼児(3~6歳)

- 前期：色・形・大きさ・表情・音・動き・言葉を認識する  
後期：色・形・大きさ・表情・音・動き・言葉を想像する



## 今月の推奨絵本

### だいどころにもはるがきた

作・絵 島津和子 福音館書店



台所にあるジャガイモやタマネギ、キャベツから芽が伸びだしました。台所でも育ち続け、春の到来をつける野菜たちが丁寧に描かれています。

### たまごのあかちゃん

作 神沢 利子 絵 柳生 弦一郎 福音館書店



色々な大きさ・形のたまご、動物が登場します。リズムカルな「出ておいでよ」「こんにちわ」という繰り返しの文とユーモラスな絵が楽しい絵本です。

## 各月齢の絵本選びと読み方のコツ



### ★1歳~1歳6ヶ月のお子様の場合

#### 《絵本の選び方》

生活に密着した簡単なストーリーがある絵本を好む姿がみられます。また、絵をよく見るようになり、知っている動物や靴などに気づき、指さしたり、言葉にしたりしながら見るようになる時期です。文は、お子様の体験が完結でわかりやすく、リズムのある繰り返し言葉で表現されているもの、絵は、書きこみが少なく、大きくはっきりとわかりやすく描かれているものを選ぶといいでしょう。



#### 《読み方のコツ》

絵本を読んでいる時に、知っている物が出てくると、指さしをしたり、大人の顔を見て訴える姿がみられます。それを「●●だね」「●●、あったね」など言葉にして受け止めていくと言葉への関心が高まります。ゆったりと一緒に繰り返し楽しんでいきましょう。